



新潟大学長
長谷川 彰

常に社会の動向に関心をもち、
バランスのとれた国際感覚を身につけ、
今おかれている世界情勢をしっかりと見据える
洞察力を培っていただきたいと思います。

卒業生、大学院修了生及び 退職される教職員の皆さんへ

平成16年の早春に新潟大学を卒業される皆さん、大学院を修了される皆さん、ならびに新潟大学を退職される教職員の皆さんに、心からお祝い申しあげます。

卒業生ならびに大学院を修了される皆さんには、これまで皆さんを支えてこられた家族や友人、先輩たち、お世話になった地域の人々、指導してくださった先生方など、学生時代に出会った人々への感謝の気持ちを、あらためて思い起こしていただきたいと思います。

現代社会においては、グローバル化が一層進行し、世界の経済や政治は目まぐるしく移り変わっています。このような状況にあっては、世の中を多面的にとらえ、バランスのとれた国際感覚を身につけることが大切です。新潟大学では、社会性と国際性を重んずる教育を目標の一つに掲げ、皆さんとともに目指してきましたが、皆さんには今後とも社会の動向に関心をもち、今おかれている世界情勢をしっかりと見据える洞察力を培っていただきたいと思います。

退職される教職員の皆さんは、永年にわたり新潟大学の発展に尽くしてくださいました。現在、五十嵐・旭町両キャンパスでは、建物の改修や増築が進み、様相が一変しつつあります。半世紀前に新潟大学が創立されたとき、誰が今の姿を予想できたでしょうか。新潟地震、五十嵐キャンパスへの統合移転等々の困難を乗り越え、ここに至るまでの発展を様々な側面から支えてこられた皆さんに、心から御礼申しあげる次第です。

いよいよ平成16年4月1日から、全国すべての国立大学は国立大学法人となります。国立大学の法人化は、少子化・高齢化社会の進行、高等教育の大衆化、科学技術の進歩等々、様々な社会情勢の変化を背景としていますが、各大学の自主性・自律性を高めることを目指した、新制大学はじま



法人化後においても、新しい新潟大学を創造するための努力を継続します。皆さんには、同窓会活動などを通して、新潟大学を力強く支援していただきたいと思っています。

って以来の大改革であります。新潟大学では、これを契機により一層国際競争力ある個性豊かな大学となるために、従来からの教育、研究、社会貢献のすべての活動を見直し、必要な改革を推し進めてきました。

改革の一端として、今年4月には、法科大学院の設置をはじめ、大学院保健学研究科の設置、大学院現代社会文化研究科及び自然科学研究科の拡充・改組、歯学部口腔生命福祉学科の新設等が実現する運びとなりました。すでに、平成15年度、大学院医歯学総合研究科に医科学専攻が設置され、また、昨年10月には医学部及び歯学部の附属病院は統合し、医歯学総合病院となっています。さらに、本学が世界に誇る脳研究所は、二つの卓越した研究センターを有するまでに発展しています。

4月1日の法人化に向けた新しい新潟大学の全体像は見えてきましたが、これで新潟大学の改革が終わったということではありません。むしろ、これは、新しい新潟大学を創造するための出発点であり、法人化後においても不断の改善に努め、教育研究活動の質の向上を図らなければならないと考えております。

法人化後における新潟大学は、これまで以上に社会からの理解と支援を必要としております。卒業生と大学院修了生の皆さんには、大学を離れても同窓会活動などを通して、新潟大学を力強く支援していただきたいと願っております。また、退職される教職員の方々におかれましては、新しい新潟大学の発展ぶりを温かく見守り、私たちを励ましていただきたいと願っております。

ここに人生の一つの区切りを迎え、新たに出発される皆さんに、あらためて心からお祝い申し上げます。

